

令和4年度

3～6月 ・常設展「カメラがとらえた久留米の100年 私の街私の時代」

7～10月 ・企画展「久留米歴史物語～見つけ守り、活かし伝える」



令和4年7月30日(土)～10月4日(火)

古来より悠久の流れをたたえる筑後川。久留米市は筑後川の流れとともに歴史を刻んできました。先人達は多くの文化を生み出し、その証である歴史遺産は市内の随所で見つけることができます。一方、社会状況の変化に消えゆく歴史文化も数多くあります。

本市は令和3年、歴史文化を後世につなげる取り組みとして久留米市文化財保存活用地域計画を作成しました。この中で、身近にある個々の歴史遺産を共通のストーリー（歴史的背景）で結んだものを「筑後川遺産」と名付けています。

今回の展示では、本市の歴史文化、保護の歴史をたどり、地域計画を通して「筑後川遺産」の保存と活用の取り組みを紹介します。

10～11月 ・久留米大学・久留米市共催企画展
「久留米俘虜収容所の風景－あるドイツ将校の写真帳でたどる」



令和4年10月9日(日)～11月7日(月)

久留米大学文学部創立30周年を記念して、久留米大学御井図書館が所蔵する資料のなかから、久留米の俘虜収容所で撮影された写真の数々を、久留米市所蔵の資料もまじえながら展示します。

同時開催：久留米大学御井図書館1階展示室 令和4年10月9日(日)～12月20日(火)

11～12月 ・久留米市人権啓発センター出張特別展「多様な性を認め合う」／人権啓発センター

12～3月 ・むかしのくらし展「くらしと道具のいま・むかし」



令和4年12月20日(火)から令和5年3月31日(金)

私たちの身の回りには様々な道具があります。時代の発展とともに、それらの道具は改良され、暮らしが便利になりました。本展では、明治から昭和にかけて、久留米市内で実際に使われていた衣食住や学び働くための道具、そして市内の交通手段や建物のパネルを紹介します。展示を通して、暮らしと道具のうつり変わりを振り返ります。

1月 ・防災展／防災対策課